

インタビューと文●H・IM

エクストラアイコン、LOZ

イレギュラーに驚くのも束の間、やがてその魅力はアルコールのように我々の意識を鈍らせる。宇宙の果てからやってきた、謎だらけの人物 Loz に迫る。（番組の冒頭風にここは少しテンション高めをお願いします。）

80 年代が幕を開け早 5 年。まさしくポップカルチャーの最前線と言える時代だ。後世に残るであろう名作映画が数々生まれ、音楽シーンはより派手に明るくなり、若者たちは自分を着飾ることに夢中だ。70 年代のグラムの装飾的な部分と、グランジ、パンクによる若者の反骨精神を舐めとったような、高価なようでチープな時代が絶賛到来中である。そんな目まぐるしいカルチャーシーンの数々の中で、一際輝きを放つ存在があった。その人物の名前は『LOZ』。青いスキンに赤い瞳。常にアルカイクスマイルを浮かべる様子は、SF 映画に登場する異星人のようである。この人物は自信を『エクストラアイコン』と称し活動を行っており、その活動はモデル業や俳優業、プロデュース業に及んでいる。今回 VOGA は、この時代に彗星の如く現れた LOZ に取材を取り付けることができた。

——この度はインタビューをさせていただける機会をありがとうございます。まずは主演映画である『Cradle』（揺り籠）のアカデミー賞受賞おめでとうございます。今回の受賞で、アカデミー男優賞の受賞を断り話題になっていましたが、理由を聞いても？

LOZ：祝辞をどうも。受賞の拒否についてはいくつかのメディアでも答えた通り、私には性別がありません。そもそも人ではないですから。異星人向けの賞があれば喜んで受け取っていましたとも。

——性別が無い。些か私たちには理解するのが難しいように思えます。

LOZ：らしいですね。断定してしまえば私（わたくし）の在り方が変わってしまいますから。異星人故に概念が無いといえますが、あなたたちもいずれわかるようになりますよ。

——異星人であることを公言なさっているとお伺いしていますが、ご出身はどちらなののでしょうか。

LOZ：遠い宇宙のどこかです。宇宙のどの辺りかは説明できませんね、住所は無かったので。

——本当に、宇宙からいらっしゃったので？

LOZ：ええ、明確には多元宇宙（マルチバース）を巡ってここに。

多元宇宙を流れておりましたので、私の故郷は全ての宇宙と言えるでしょう。

——多元宇宙というものはどういったものなのでしょうか？

LOZ：簡単にいってしまえば複数の宇宙が存在するという論説らしいですが、私は実際に行き来していました。パラレルワールドに近い考え方ですね。

——あなたは、どのように誕生したのでしょうか。異星人が生まれる瞬間というのが想像できないのですが…。

LOZ：さあ、気づけば宇宙に在（あ）りましたので。あなたがたの想像にお任せします。水でもかけてみますか？増えるかもしれませんよ。

——遠慮しておきます。あなたが増えれば職を失う俳優やモデルが増えてしまうかもしれませんから（笑）ところで名前である『LOZ』ですが、由来はあるのでしょうか。

LOZ：1947 年に未確認飛行物体が落ちましたでしょう？私あれとここに来たんですよ。その時に落ちた場所がアメリカのロスウェル陸軍飛行場でしたのでそこから取って ROS（ロス）と呼ばれていましたが、段々と LOZ（ロス）になっていきました。

——軍事基地に落ちた未確認飛行物体と共に降り立ったなんて、まるで SF 映画のような話ですね。その話が本当なら 30 年以上は地球にいることになりますが。その間は何をなさっていたのでしょうか？

LOZ：人類について様々なことを調べていました。どの星でも溶け込むには研究が必要ですからね。また当初からこの姿をしていたわけではなかったの
で、人間の容姿を真似て身体を捏ねていました。多
数字宙の様々な星に降り立つ際にも、星ごとに容姿
を変えていますが、猿人類から二足歩行の状態で発
展した星は初めてだったのですね。

——地球が初めて降り立った場所というわけではな
かったのです。驚きばかりの回答でどこから聞いて
いけば良いのやら…。やはり地球というのは宇宙
から見ても目立った場所だったのでしょうか。

LOZ：ええ、青と緑の美しい色合いの星で、一眼で
気に入りました。掌握しておきたいという気持ちに
なりましたね。地球は私のお気に入りのコレクション
の一つです。

——なんだか恐ろしい言葉が聞こえて来たような…
人間の容姿を真似て現在の姿になったとおっしゃい
ましたが、私は青い顔や赤い瞳の人を見たことがあ
りません。なぜその色合いにされたのでしょうか。

LOZ：冗談ですよ。容姿については実在する人間だ
けではなく、あなたたちの信仰するものや創作物等
も参考にして、最も興味深く映るように考えたので
すよ。面白いものが多くて 30 年では足りないくら
いです、地球を知るには。こうしているうちにも何
かしらが生まれているでしょうし。

——映画『Cradle』（揺り籠）についてお伺いした
いと思います。売れない俳優がある日バーで出会っ
た謎の人物『アヴィ』に出会い対価を要求する代わ
りに男を成功に導いていくという話の中でアヴィ役
を演じられていましたが、こちらの作品に出演され

る上で苦勞された話などあればお伺いしたいです。

LOZ：演技そのものですね、私、あまり表情が動か
せない。人間の感情というものを完全に再現
するのはいまだに欠点の一つでしてね、なので普
段からあえて話すときは強めに抑揚をつけて話し
ていたり、優雅に立ち振る舞うことを意識してお
ります。

——そうだったのです。確かにかなり特徴的な
話し方をされていますね。アルカイクスマイル
に対して声には表情があるというのがシニカルな
感じがします。そんなところが蠱惑的(こわくてき)
に思います。

LOZ：ええ、魅力的でしょう？一部のかたはあまり
に魅力を感じているからか、私を悪魔だとかいっ
て暴動を起こしているらしいですけどね。この惑
星のこの時代に訪れた異星人は私が初みたいで
すから。

——自分以外の異星人にあったことが？

LOZ：あなたとかね。私からしたら地球の人々も異
星人ですから。さあどうでしょうね。ウェルズ
(H・G ウェルズ) が描くような生き物に出会っ
ているかもしれないですね。

申し訳ないのですが私、次の予定がありますので
今日のインタビューを切り上げて？

——もうそんな時間に。失礼しました。この度は
インタビューにお答えいただきありがとうございました。
最後に一言お願いいたします。

LOZ：地球にだけではなく、あなたがたの心に住ま
うことを願っていますよ。愛を込めて LOZ より。